

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸作成日: 平成 23 年 10 月 25 日**目標達成計画書**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の重度化や終末期に向けた支援体制を、入居時に、利用者や家族に説明し理解してもらっているが、今後は、書面で説明し、承諾をいただくようにしていく。	ホームで出来ること、出来ないことを重度化に向けた指針を作成し、説明し、利用者や家族に理解してもらい、日常的に利用者の重度化に向けた、方針を話し合い共有していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	近隣に民家が少なく、非常災害時の応援体制が、十分ではないが、隣接特養職員と連携を取りながら、協力体制を強化していく。	非常災害時の協力体制を、運営推進会議メンバーや、地域の方に日頃から協力要請し、避難訓練時に参加していただくようお願いしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。